

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します!



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1(県庁6階)
電話 058-272-8199

第19号

平成30年12月発行

26 花里まちづくり協議会(高山市)

事務所：サロン花里(高山市花里町2-39-5) 会長：塩谷 雅 活動地域：高山市花里地区

地域の概要

JR高山駅から徒歩で15分ほどの地域で、静かな街並みが続くところや田畑が広がるところが混在している。病院や大型スーパーがあるなど住環境は整っており、住みやすい地域である。人口は、横ばい状況である。2,578世帯、人口5,875人(平成30年4月1日現在)。(注)単位町で主な地区へ割り振っているため実際の数値とは合致しない。

会の概要

花里地区住民とともに「住みやすいまち・住み続けたいまちづくり」を目指すため平成26年9月8日の設立総会を経て設立された。基本方針は「人の顔がわかる地区づくり」で、その実現のために大切にしていることは、「3つの“わ”」「話(語り合う)和(互いに和む)輪(つながりの輪を広げる)」である。

「本部」「地域づくり部」「健康福祉部」「社会教養部」「環境安全部」を設置して様々な事業を計画、実行しながら安心・安全に暮らせる環境整備の推進やくらしが豊かで活力ある地域づくりを目指している。

運営の基本

地区内各団体のこれまでの事業は大切にしながら、その中で協働して行った方が良いこと、地区全体で考えた方が良いことを検討しながら役員の連携協力のもと、住民の皆さんの活力を活かして運営している。

主な活動

「本部」の活動

各部の連携を充実し、地区の各団体・高山市との協働の中で地区住民の理解と協力を得ながら、幅広い世代の参加による諸行事の推進を図っている。

協働のまちづくりについて、より理解を深め、地区みんなで作り上げていく思いを幅広く共有できるよう事業を通して発信している。

■グループ連携会議の開催

各部に設置されたグループの情報共有やグループ間の連絡調整を図るため、原則月に1回開催している。

■「花里まち協を語る会」の開催

ひとり暮らしのお年寄りが増えているので見守りが大切、気軽に話せる場所があるといい、住民皆で子どもたちを見守り育てていくことが大切など多くの貴重な意見が出され、その意見を活かせるよう工夫して取り組んでいる。

■広報啓発 地域の掲示板やホームページ、まち協ブログの随時更新等により、活動内容を広く広報している。

「地域づくり部」の活動

地区の課題を掘り起し、その解決に向けた活動を各部と連携すると共に、活動状況の広報活動を行っている。

■地域活動グループ

・「サロン花里」の利用活性化

地区住民の活動の拠点である「サロン花里」は閑寂な場所にある。空き家を活用した古民家風の佇まいで落ち着いた空間に心が癒されるような雰囲気を感じられる。地区住民が好きな時に集い、交流の場として活用されている。

・「わいわいカフェ」の開催

毎月開催し、毎回趣向を凝らした内容となっている。ハガキ大サイズの牌を使用するコミュニケーション麻雀では、2人一組で行うことで自然とコミュニケーションがとれる工夫がされている。その楽しいやり方は口コミで伝えられ、参加者が増えている。

・「ベビーマッサージ講座」の開催

毎月開催。講師は東日本大震災で被災され、この地域に家族で引越しをされた助産師の方である。地域にとけ込み、お母さん方に、笑顔を届けたいという想いで活動されている。地域外からも参加者があるなど講座は定着し、好評である。

・「わいわい食堂」の開催

年3回ほど開催。ボランティアの方々が入心を入れて作られたメニューに、高齢者や親子連れなどの参加者は舌鼓をうち楽しい交流の場となっている。開催場所の選定、スタッフの確保、地産地消の食材でのメニューづくり等課題をしっかりとらえ、息の長い事業として取り組んでいく予定である。

■広報活動グループ

広報誌「花里まち協だより」を年5回発行し、各世帯に配布。分かりやすく読みやすい広報誌づくりを心がけている。



「サロン花里」の外観